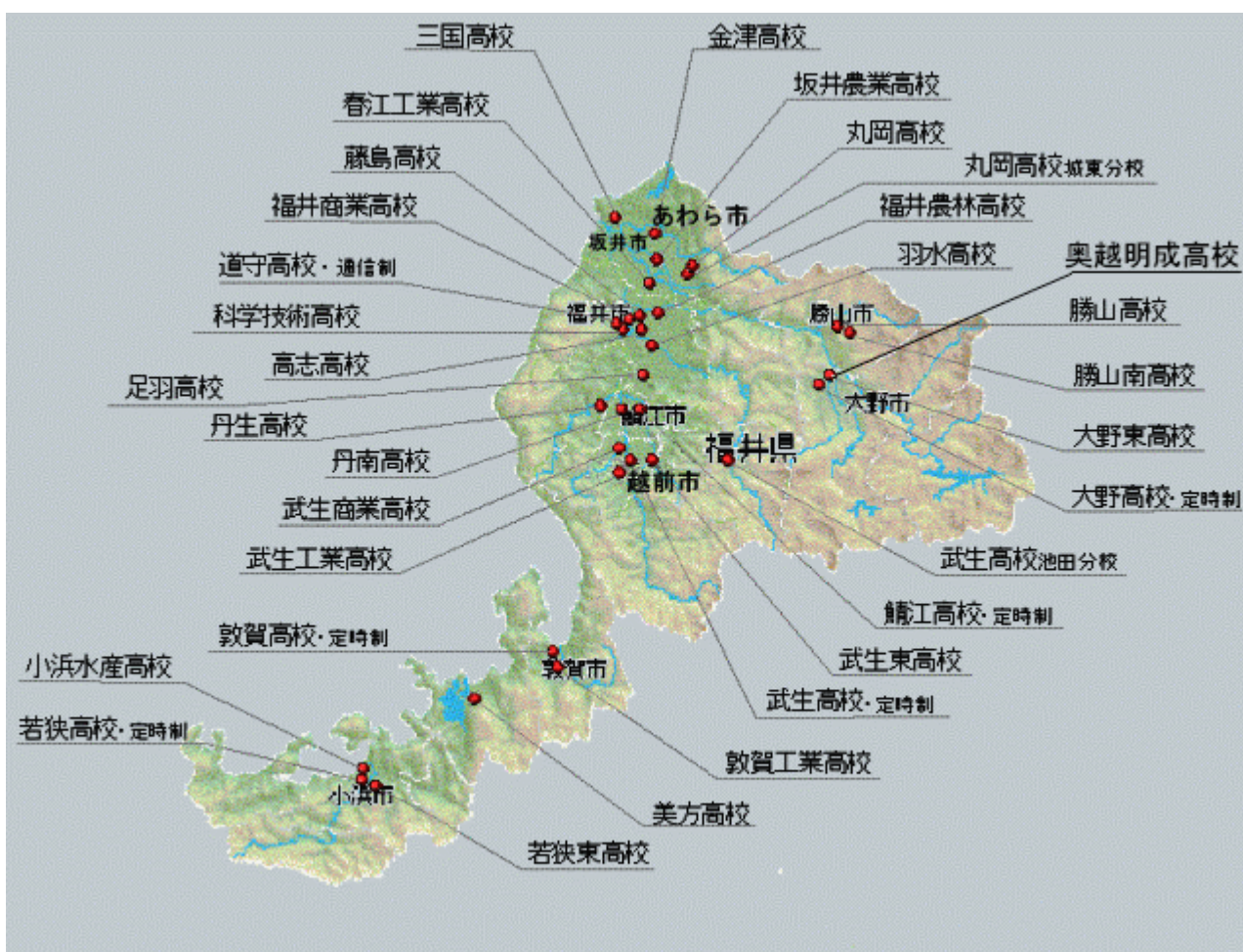


福井県の高次教育について

1 県立高校の設置状況について

(「ふくいの教育」および「進路のしおり」参照)



2 県立高校の改革について

平成14年 8月 福井県高等学校教育問題協議会答申

- ①普通科、理数科の学区を全県一円化
- ②学校群制度の廃止
- ③特色ある学校づくりの推進
 - ・学区を全県一円とし学校群制度を廃止することに伴い、特定の地域や高校へ受験生が集中し、過度の受験競争が生じることがないように特段の配慮が必要
 - ・特色ある学校づくりの推進として、県教育委員会は、地域の高校と地元の中・中学校とが連携した中高一貫教育の複数の地域における新たな導入について検討

平成16年 3月 新たな高校入試実施

- ・県内の4学区を撤廃し全県1学区
- ・総合選抜を実施していた藤島・高志の学校群を解消

3 福井型中高一貫教育について

平成14年11月 第1回中高一貫教育推進検討委員会(以後10回開催)

平成15年11月 中高一貫教育推進検討委員会報告

「福井県における新たな中高一貫教育の実施について」

<形態>

- ・連携型の利点に併設型の利点を併せ持つ新たな連携型中高一貫教育校、具体的には「市町村立中学校の一部のクラスを連携先の高等学校にスライドさせる」という形態であり、中学校から生徒を固定し、これらの生徒については学力検査は行わずに、中学校および高等学校の計画的・継続的な学習を保証するというもの

<実施地域>

- ・中高一貫教育を新たに導入する地域としては、福井市内の高等学校へ受験生が集中しないよう配慮するとともに、多くの生徒の選択肢が拡大し、各地域内の中等教育をより一層充実させることができるよう、坂井地域、丹南地域および嶺南地域を中心に設置を検討

平成17年 4月 福井型中高一貫教育開始

- (概要)・平成17年度入学生から、あわら地域、朝日地域、三方・美浜地域で開始
あわら地域では芦原中学校と金津中学校が金津高校と連携
朝日地域では朝日中学校が丹生高校と連携
三方・美浜地域では三方中学校と美浜中学校が美方高校と連携
- ・連携中学校において、一部の生徒を選抜し、中学校3年から高校3年まで計画的継続的に指導
 - ・連携高校の教員が、選択授業を利用して、連携中学校の教員とともに、高校の内容にまで踏み込んで指導
- (成果)・受験を控えた精神的に不安定な時期がなく、また、高校入学後もいち早く高校生活になじむことができるため、落ち着いた生活
- ・少人数で丁寧な指導の結果、約41%の卒業生が国公立大学へ合格
(同じ年度における一般生徒の場合、約23%が国公立大学へ合格)
- (課題)・新学習指導要領で選択授業がなくなり、高校の内容にまで踏み込んで学ぶ時間が減少